



Komatsu 高校

学校通信

令和 3 年

12 月

『交通安全について』

生徒課 池田昌史

11月の第3週は読書週間でしたね。皆さんはどのような本を読みましたか。高校生のときに読んだ本というのは、登場人物に感情移入しやすいせいか、大人になっても強く心に残っているものです。本としての小説はあまり読まない、という人でも、教科書や模試の文章として小説文を読み、それをよく覚えている、ということもあるのではないのでしょうか。私もやはりそうで、模試で読んだ黒井千次の自伝的小説である「春の道標」が強く印象に残っています。特によく覚えている場面が、メインのあらすじとは全然関係ない、主人公の友人であるもくさという人物が、自転車で主人公の前に現われ、自転車のすばらしさを語る場面です。舞台は戦後間もないころなので、もくさは自転車を買えたことがよほどうれしかったのだらうなと思います。

さて、自転車といえば、今年度、小松高校は令和3年度自転車交通マナー向上対策実践指定校となっています。実践指定校とは、交通ルールや自転車交通マナーに係る意識啓発や、自転車新文化の普及促進への取組を実践する高校です。先月行われた交通安全講話や交通安全教室などがその一環となります。また、C.A.P.の生徒の皆さんに協力していただき、西条市内をサイクリングでまわり、自転車で走る楽しさや西条市の景観を楽しむ活動を行いました。左下の写真がその様子です。あいにくの曇り空ではありましたが、無事にサイクリングをすることができました。

ところで、この写真ではもちろん全員ヘルメットを着用していますね。この文章を書くに当たって、去年の学校通信を読んでいたところ、「ルールだから何も考えず守る、ではなく、なぜそのルールがあるのかを考える。考えることをしない人間の言葉は他人の心には届かないことを頭の片隅に置いておいてほしい。『ポーっと生きる』ことがないように。」という内容の文章を見つけたので引用させていただきました。さて、ではなぜ自転車に乗るときはヘルメットを着用するのでしょうか。よく考える、、、までもなく答えれそうですね。安全のためと答える人が多いのではないのでしょうか。ただここで、もう少し考えてみてください。先ほど引用した学校通信に、「**「お互いの視点」で考えることだ。**」という言葉がありました。交通ルールをお互いの視点から考えると、例えば事故が起こった時に、加害者となってしまった側から考えると、ヘルメットの有無による事故の程度の違いは大きな意味があると思いませんか。また、保護者の立場からするとどうでしょうか。生徒の皆さんが交通ルールを守って、安全である確率の高い行動をしていることは保護者の方にとって大きな意味があると思いませんか。交通安全について、いろいろな視点から、よく考えてみてください。



令和3年 12月行事予定

日	曜	行	事
1	水		期末考査
2	木		
3	金	↓	養正会広報委員会
4	土		土曜課外⑥ P T A研修集う会
5	日		小松高校見学会
6	月		語の日
7	火		クラスマッチ (3年) 校納金引落
8	水		クラスマッチ (2年)
9	木		クラスマッチ (1年) 進路講演会 (1年)
10	金		全校集会
11	土		土曜課外⑦ (1~3年)
12	日		
13	月		
14	火		45分授業
15	水		45分授業 各種委員会
16	木		木①②⑦限の授業 保護者懇談会 学校評価アンケート(保護者用)
17	金		金②~④の授業 保護者懇談会
18	土	↑	大学入学共通テストファイナル(3年) 食物検定2級
19	日	↓	第65回全商英語検定試験 被服検定1級(洋)
20	月		表彰伝達 終業式 保護者懇談会
21	火		
22	水	↑	冬季セミナー
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	↓	
29	水		
30	木		
31	金		

< 3回竹林整備のお礼 >

11月14日(日)の竹林整備では、お忙しい中参加していただいた皆様、たいへんお世話になりました。竹林をよくする会の御指導の下、P T Aの方々、生徒・教職員が小松高校周りの竹を切り、バケツリレーで運び下ろし、機械で小さく砕きました。汗を流しながら一生懸命に作業をしていると、息を合わせて協力する喜びや一体感が生まれて、生徒たちにとっても豊かな気持ちになれる充実した時間だったと思います。